



## 10 2 大地の恵みに感謝 農業高校で秋の収穫祭を開催

新十津川農業高校で収穫祭が開催され、昨年を超える262人の来客でにぎわいました。

このイベントは、高校生が自分たちで栽培した野菜や加工製品などを販売し、農高の活動を地域の人々に知ってもらうと、毎年この時期に開催されています。店頭よりも安く購入できることもあって、午前10時の開場を前に100人以上が行列を作りました。

また、同会場ではマリゴールドの染色体験教室も開かれました。エコバッグを染めた岩田爽さん（新小4年）は「最後の模様を付けたところのゴムを外すのが楽しみでした。初めてだったからどんな風になるか分からなかったけど、思ったより綺麗にできました」と話していました。

## 10 19 前売券短期完売 清水ミチコトーク&ライブ

タレントの清水ミチコさんが、ゆめりあでコンサートを開き、この日を待ち望んでいた333人のファンを魅了しました。

テレビ番組でおなじみの清水さんのステージを一目見ようと、前売券は発売日から飛ぶように売れ、数日間で売り切れました。

清水さんがモノマネやピアノ弾き語り、巧みなトークを繰り広げると、会場は笑いの渦に包まれました。





### 10 3 収穫の秋到来 第13回味覚まつり

改善センター前で第13回味覚まつりが開催され、2000人の来場者でにぎわいました。

町内産の新米や地酒金滴<sup>したつつみ</sup>が無料で振る舞われたほか、いも煮鍋や手打ちそばのコーナーには行列ができ、来場者は新十津川町の味覚に舌鼓<sup>したつつみ</sup>を打ちました。

また、木の重さを量ってその正確さを競う「はかってもらう米」では、町内はもとより遠くは札幌からも選手が集まり、20人が町内産の新米をめぐる真剣勝負を繰り広げました。入井観光協会会長から優勝商品のななつぼし5キ<sup>ペ</sup>を受け取った芦別市の高橋美津子さんは「うれしいです」と満面の笑みで答えました。

### 10 16 タクシーで送迎します

乗合タクシーの実証運行が始まりました。

この取り組みは、町地域公共交通活性化協議会が、まちの実情にふさわしい公共交通のあり方を検討するために、昨年から3カ年計画で実施しているものです。2年目となる今年は、昨年実施したコミュニティバスの運行結果を踏まえて、11月30日まで乗合タクシーで実証運行を行います。

利用者からは「バスよりも乗り降りが楽で助かります」「家まで迎えに来てくれるから嬉しいです」との声が聞こえました。



### 10 25 高校生のアイデアを商品化

新十津川農業高校生が考案したインゲンマメプリンが、11月9日から全道のサンクスで販売されることになり、農高で記者発表が行われました。

このプリン<sup>プリン</sup>は、食物専門分会の生徒6人が、新十津川町と農高をPRしようと、JAピンネが道外出荷額で全道1位を誇るインゲンマメに着目して開発したものです。

考案者の1人、橋優衣さん(3年)は「商品化を聞いたとき、嬉しい気持ちでいっぱいでした。努力が実った瞬間でした」と話しました。

